

花粉の少ない森づくりを応援しよう！

森づくり

支援倶楽部 会報誌

vol. **42**

発行日 令和4年1月29日

contents

- 01 ・ 募金/「企業の森」/普及・PR活動の報告
- 02 ・ 普及・PR活動の報告
 - ・ 東京マラソン2021チャリティ
- 03 ・ 記念植樹イベント2021
- 04 ・ NEWS / 東京農林水産ファンクラブ会員募集中
 - ・ NEWS / 檜原森のおもちゃ美術館がオープン
 - ・ NEWS / 多摩産材利用拡大フェアに行ってきました
 - ・ NEWS / 「とうきょうの木」のロゴマークが決定



募金の報告

森づくり支援倶楽部への大口募金

令和3年6月30日(水)と11月30日(火)に公益財団法人コカ・コーラ教育・環境財団様、8月4日(水)に株式会社きらぼし銀行様、11月16日(火)に東京都山林種苗緑化樹生産組合様より、花粉の少ない森づくり募金へ、大口のご寄附をいただきました。各団体様には長年にわたり募金へのご協力をいただいております、花粉の少ない森づくりへのご理解とご協力に感謝申し上げます。

いただいた募金は、多摩地域へのスギ・ヒノキ林の伐採や花粉の少ないスギ・ヒノキへの植え替えに活用いたします。

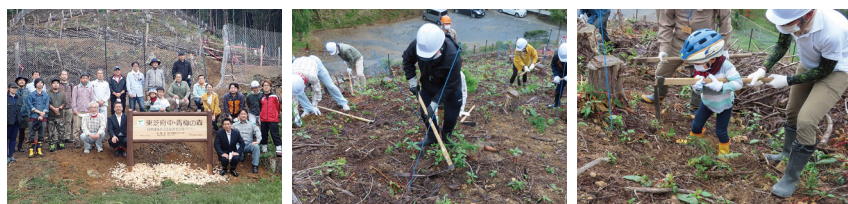


きらぼし銀行・贈呈式

「企業の森」の報告

東芝府中・青梅の森

令和3年9月25日(土)に東芝労働組合府中支部の皆様とご家族により、「東芝府中・青梅の森」で初めての活動となるイベントが行われました。開会式で看板のお披露目と記念植樹を行った後、「元気に育ちますように」と願いをこめて、花粉の少ないスギ150本を植樹しました。



企業の森とは
「花粉の少ない森づくり運動」の取り組みとして、協賛企業・団体に整備費用の負担をご協力いただき、「企業の森」として森林整備を実施しています。

企業の森・きらぼしの森

令和3年10月5日(火)、株式会社きらぼし銀行の新入社員を中心に総勢72名の皆様が参加しました。秋晴れの中、一所懸命に下刈り作業を行っていただきました。きれいに整備されたおかげで、苗木はのびのびすくすくと育っていきそうです。



普及・PR活動の報告

多摩市制施行50周年記念イベントに出展

令和3年10月31日(日)と11月3日(水・祝)に多摩センター駅コロシアム多摩センター前で開催された、多摩市制施行50周年記念イベントに東京ヴェルディさんとコラボ出展しました。小さなお子さんから大人まで多くの方に、「とうきょうの木・多摩産材」を使った丸太切りチャレンジやキーホルダー等が作れる木工体験を楽しんでいただきました。皆さん「とうきょうの木」に触れながら、木に親しみを感じてもらえたようでした。体験料としていただきましたご寄附は花粉の少ない森づくりに活用します。



東京ヴェルディのキッズパークイベントに出展

令和3年11月21日(日)に味の素スタジアムにて、Jリーグ・東京ヴェルディホームゲームのキッズパークに出展しました。人気の丸太伐りチャレンジやキーホルダーづくりなど、サッカー少年・少女たちをはじめ、多くの子供たちに木工体験を楽しんでもらいました。「花粉の少ない森づくり運動」や「とうきょうの木・多摩産材」のことを知ってもらえる良い機会となりました。



花粉飛散時期PR活動

東京都農林水産振興財団では、「花粉の少ない森づくり」の周知とご理解をいただくため、毎年、スギやヒノキの花粉が多く飛散する時期に集中的なPRを行っています。年明けすぐの令和4年1月8日(土)には、高尾599ミュージアムで、PRイベントを開催しました。初詣で賑わう高尾山を訪れた方々に木工体験を楽しんでもらいながら、「花粉の少ない森づくり」を紹介しました。この他にも都内各所で、PRブースの設置やポスター掲示などを行う予定です。



YouTube「東京森づくりチャンネル」の第5・6・7弾を公開

花粉の少ない森づくり運動で配信しているYouTube「東京森づくりチャンネル」。普段見ることのできない東京の森での作業の様子や、花粉の少ない森づくり運動の取り組みなどをお届けしています。この機会に、ぜひご覧ください。

YouTube「東京森づくりチャンネル」
の登録はこちら



- 第5弾
「今年も下刈りががんばってます」
- 第6弾
「シカ柵で苗木をガッチリ守ります」
- 第7弾
「花粉の少ないスギ・ヒノキの種をつくっています」

「企業の森」かわら版のNo.3、No.4を発行

各企業・団体による「企業の森」への取り組みをはじめ、「企業の森」や多くの森林での出来事などを記事にした《「企業の森」かわら版》。日々、見回りを行っている「企業の森」の様子をお伝えしています。No.3の夏号では、暑い夏の下草刈りの様子などを紹介。No.4の秋号では、シカによる食害などで困っている東京の森で、シカ柵を設置の様子をお伝えしています。



かわら版 No.3



かわら版 No.4



東京マラソン2021チャリティ

東京マラソン2021チャリティ公式ウェブサイト
<https://www.marathon.tokyo/2021/charity/>

延期となっている東京マラソン2021は、令和4年3月6日(日)開催の予定です。東京マラソン2021チャリティに出場を予定されているランナーの皆さま、1年越しとなった大会に向けて、日々、練習に励んでいることと思います。寄付先団体による沿道での応援などは自粛となっており(令和4年1月現在)残念ですが、大会当日の皆さまのご活躍を願っています。

公益財団法人 東京都農林水産振興財団は東京マラソン2021チャリティの寄付先団体です。



記念植樹イベント2021の報告



※撮影の為、マスクを外しています

開催日：令和3年11月7日(日)

参加人数：19名(チャリティランナー2名 / 支援倶楽部会員2名 / 一般参加者15名)

今年度の植樹イベントには、応募者多数の為、抽選により19名の方にご参加いただきました。今回参加された方の中には、「初めての植樹体験でとてもいい経験になりました」、「初めて参加したけれど、楽しかったので来年もぜひ参加したいです」という、うれしいお話を伺い、スタッフとして喜びを感じました。

当日は、JR青梅線河辺駅に集合。本年度もマスク着用のお願いと検温を実施。ソーシャルディスタンスを保つため、間隔を開けて乗車していただき出発、青梅市梅郷の植樹地に向かいました。



午前のプログラム 植樹体験

青梅市梅郷の山で植樹体験を行いました。開会式の後、みんなで元気に準備体操。その後、東京都森林組合の指導員の方に苗の植え方を教えてもらいながら、花粉の少ないスギの苗300本を無事植えることができました。



唐クワを使って穴を掘り、1本1本丁寧に苗木を植えました



植樹体験後に利用した施設がある野市にある戸倉しろやまテラス。139年続いたあきる野市立戸倉小学校の廃校を活用し、地域と都市間交流を目的とした「体験」「宿泊」「飲食」「展示」の4つの機能を備えた滞在型観光施設です。



お待ちかねのお弁当、バラエティ豊かな幕ノ内弁当をいただきました
教室の中で食べるなんて、なんか小学生に戻ったような気分でしたよ



午後のプログラム ランニングツアー

西多摩の自然や歴史を熟知する『東京裏山ベース』の神野さんと石田さんを講師に迎え、ランニングツアーを体験。ストレッチや走行フォームなどのランニング講習を受けた後、秋川周辺の約6kmを走りました。紅葉の中、トレイルを走る際のアドバイスやあきる野市の歴史に関する話なども聞きながら、最後はみんな笑顔でゴールしました。



ランニングを意識したストレッチ



紅葉を見ながら秋川をGO!!



急な山道ではちょっと息切れ



眺めがよい場所で記念撮影

午後のプログラム 葉っぱスタンプアート

戸倉地区にお住まいの方が教えるスタンプアートを体験しました。まずは施設周辺を散策して、自分好みの落葉や植物を採取。そして、アクリル絵の具を使用して、無地のトートバッグにスタンプ。思い思いの模様をつけて自分だけのアートを完成させていました。小さなお子さんはもちろん、大人の方も童心に帰って楽しんでいましたよ。



施設周辺で葉っぱの採取



教室で製作スタート



自然の落ち葉や植物を使って完成した自分だけのアート作品



NEWS / 東京農林水産ファンクラブ会員募集中!



令和3年7月に東京都農林水産振興財団では、東京の農林水産業に興味・関心を持つ方々とつながり、東京の農林水産業の魅力や価値を共有し、集い、楽しんでいただくためのコミュニティを設立しました。会員限定のイベントの開催や生産者支援となる東京野菜や地域特産品の販売(マルシェに出店)、会員向けアンケート調査の実施などを行うことで、会員の皆さまと共に東京の「農・林・水」を育てていくというファンクラブです。東京の農林水産業を応援してくれる方であれば、どなたでも大歓迎です!

東京農林水産ファンクラブの入会金・年会費は無料です。
会員登録はこちらから <https://www.tokyo-aff-fc.jp/>



NEWS / 檜原森のおもちゃ美術館がオープン

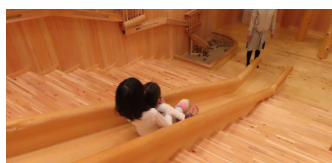
令和3年11月3日(祝)、93%が森林という緑豊かな大自然の中にある檜原村に、おもちゃの美術館がオープンしました。北檜原小学校の跡地に建てられた美術館の建物に使われている木材は檜原村産。木のおもちゃで遊びながら、木のぬくもりが感じられる体験型ミュージアムです。
入場するとそこは檜原村そのもの。山があり、森があり、川が流れ、段々畑には野菜やきのこが育っています。また、小さな台所などもあり、見事に里山の暮らしが檜原の木で再現されています。さらに、2階には3歳未満の赤ちゃんが遊べる木育ひろばなどもあり、小さなお子さんでも安心して楽しめる施設になっています。



わくわくする建物外観



檜原村を再現した美術館1階



さわった感じが優しい木の滑り台



段々畑のきのこ「収穫もできますよ!」



大谷 貴志館長

檜原村で生まれ、北檜原小学校を卒業したという館長の大谷さん。檜原の森の木々に囲まれながら育ち、木の良さを身近に感じてきたと言います。「観光の拠点としてはもちろん、檜原村産材の良さを知ってもらうことで、林業や木材産業が活性化し、人の流入が増えることで、村がもっと元気になることを願っています。さらにその先は日本一有名な『おもちゃの村』にしたい」と話してくれました。

檜原 森のおもちゃ美術館

所在地 東京都西多摩郡檜原村3783番地

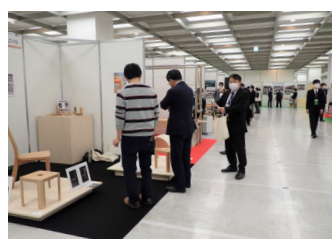
TEL 042-588-4044

※ 詳しい情報は公式ホームページをご覧ください



NEWS / 多摩産材利用拡大フェア2021に行ってきました

令和3年11月10日(水)・11日(木)新宿NSビルにて、多摩産材利用拡大フェアが開催されました。多摩産材の供給者と利用者とのマッチングを行う窓口である多摩産材情報センターが中心となって開催しています。6回目となった今回は、建材や家具・什器・外構・外装など34社が出展。持続可能な開発目標(SDGs)への関心が高まり、木材に注目が集まる中、特色ある木製品がいろいろと展示されていました。新型コロナウイルス感染拡大防止対策がされた会場は連日大盛況で、昨年を大幅に上回る来場者をお迎えすることができました。



江戸時代創業の木具定商店が作る木のストロー。檜原村の突板(木材を薄くスライスした板)に群馬県産の食品用こんにゃく粉を接着剤にして作られたエコ製品です。



東京都森林組合のブースに展示されていたのが木製の車椅子。家具・什器などの製作メーカー・カネモク工業が製作した新製品です。東京都森林組合から調達した多摩産材を使用しており、木のぬくもりに包まれるような優しさを感じる製品です。

ご来場いただけなかった方、もう一度見たい方々のために『多摩産材利用拡大フェア2021WEB展示会』開催中です



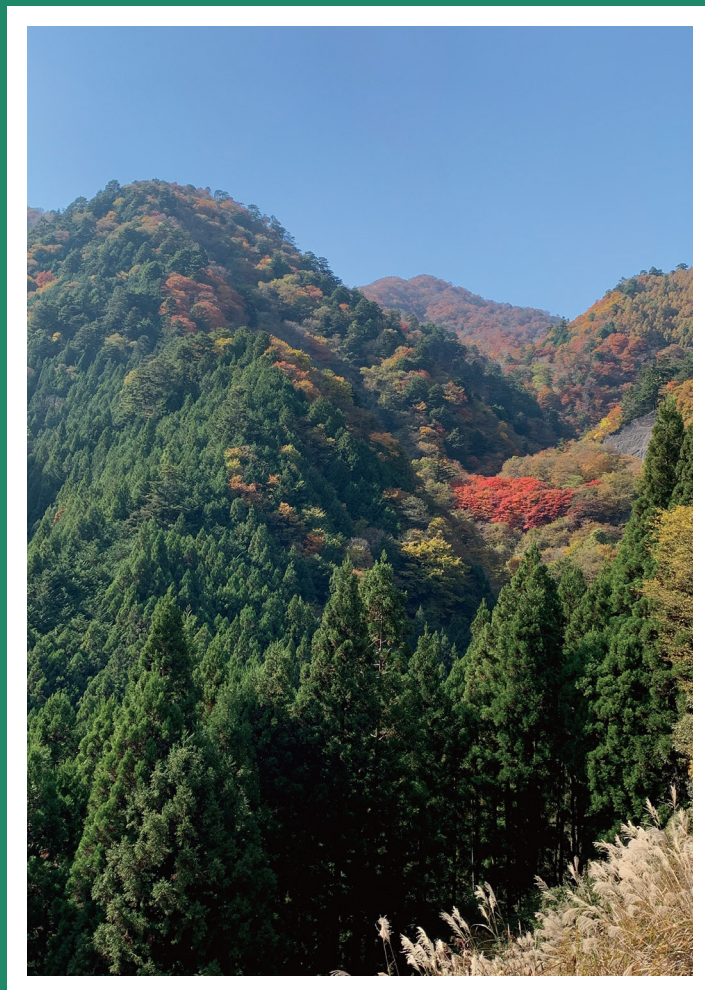
<https://tamasanzai.jp/2021/report/#webtenjikai>

NEWS / 「とうきょうの木」のロゴマークが決定しました



東京の多摩地域で育ち、適正に管理された森林から生産され、多摩産材認証協議会が産地を証明した木材が「東京の木 多摩産材」です。その新たな愛称「とうきょうの木」のロゴマークが決定しました。運用開始は令和4年4月からの予定です。立方体にも正六角形にも見える図形の中には、TOKYOという文字が隠れています。正六角形は雪の結晶など自然界でもよく見られ、規則正しく並んだ構造は「ハニカム構造」と呼ばれ、最も安定したチカラを発揮するとされています。立方体はカットされた木材や家作りの際の構造、正六角形からは様々な木材が組み合わさった様子や切り株の断面も連想できます。

花粉の少ない 森づくり運動



育てます豊かな食とみどりの東京
公益財団法人 **東京都農林水産振興財団**
Tokyo Development Foundation for Agriculture, Forestry and Fisheries

森づくり支援倶楽部事務局

〒198-0036 東京都青梅市河辺町6-4-1 青梅合同庁舎3階

TEL : 0428-20-8153

Email : moridukuri@tdfaff.com

HP : <https://moridukuri.tokyo/>



(公財)東京都農林水産振興財団は、
SGEC森林管理認証による環境に配慮した
森林管理を実施しています。

月1回、花粉の少ない森づくりに関する
メールマガジン(無料)を配信中です。
是非、右のQRコードから登録を!

